

復興とは何かを考える委員会

第一回委員会

2009年5月30日14:00～17:00

@関西学院大学丸の内キャンパス

本日のスケジュール

- 14:00 「復興とは」委員会の進め方について（幹事 永松）
- 14:15 中林先生報告（質疑10分程度含む）
- 15:00 木村様報告（質疑10分程度含む）
- 15:45 休憩
- 16:00 討論
- 17:00 閉会

委員会のミッション

- 今後の災害復興の議論をより豊かにかつ生産的なものにするために、復興の概念あるいはあるべき復興について、これまでに出された主要な論点や、共通認識および主要な対立点などを整理することによって、今後の議論の土台としての共通理解を形成すること。
- 今年度は、学会会員の主要な論客の意見を整理する。

フォーマットについて

- より深い議論にするためには「書き物」が必要不可欠。
- それぞれの主張が生まれた個人的な背景（専門分野、経験した災害、仕事面での立場）を同時に明らかにする。（「一人称」の議論）
- 同時に、論理的かつ冷静に語る視点も重要（「二人称」の議論）

進め方について

- すこし皆様で協議して頂きたい事項
 - 委員会スケジュールと報告者について
 - 6月13日？
 - 一般会員からの報告フォーマットの取り扱いについて
 - すでに委員以外からも何人かから提出あり。
 - 1月の復興学会総会で報告会を行う？ そうだとすると、募集はもう少し後でも良い？
 - そのほかの参加の形があり得るか？
 - 復興Wikiへのインプットの方法について

「復興とは」委員会における 議論の3原則(案)

1. 議論の勝敗を求めることはやめよう。
 - 多様な意見や考えを尊重し、理解し、相互に位置づけることをめざそう。
2. 違和感は率直に口に出そう。
 - わからない点や問題だと感じる点は率直に指摘し、論点を明確にしよう。
3. わかりやすい言葉で議論しよう。
 - 復興学会会員はもちろん、一般社会で理解され、受け入れられる成果を目指そう。